



私たちのまちの

# 在宅医療

## 在宅医療とは

在宅医療とは、医師や歯科医師、看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士、ケアマネジャー、ホームヘルパーなどの専門職が連携して、患者さんの住まい（自宅・施設など）を訪問して行う医療・ケアのことを言います。また、医師が訪問して行う在宅医療には、定期的に訪問する「訪問診療」と患者・家族の求めに応じて訪問する「往診」の2種類があります。

## メリット

- ・ 住み慣れた環境で療養できる
- ・ 家族や友人と好きなときに過ごせる
- ・ 入院より自由度の高い生活が送れる

## 対象者

- ・ 通院することが難しい方
- ・ 高齢で定期的な管理が必要な方
- ・ 認知症や寝たきりの方
- ・ 最期まで自宅で過ごしたい方
- ・ パーキンソン病などの難病をお持ちの方 等

## 入院との違い

- ・ 入院治療より家族のサポートを必要とする
- ・ 本人だけでなく、家族（親族）の意思統一が必要
- ・ 積極的な治療は難しい

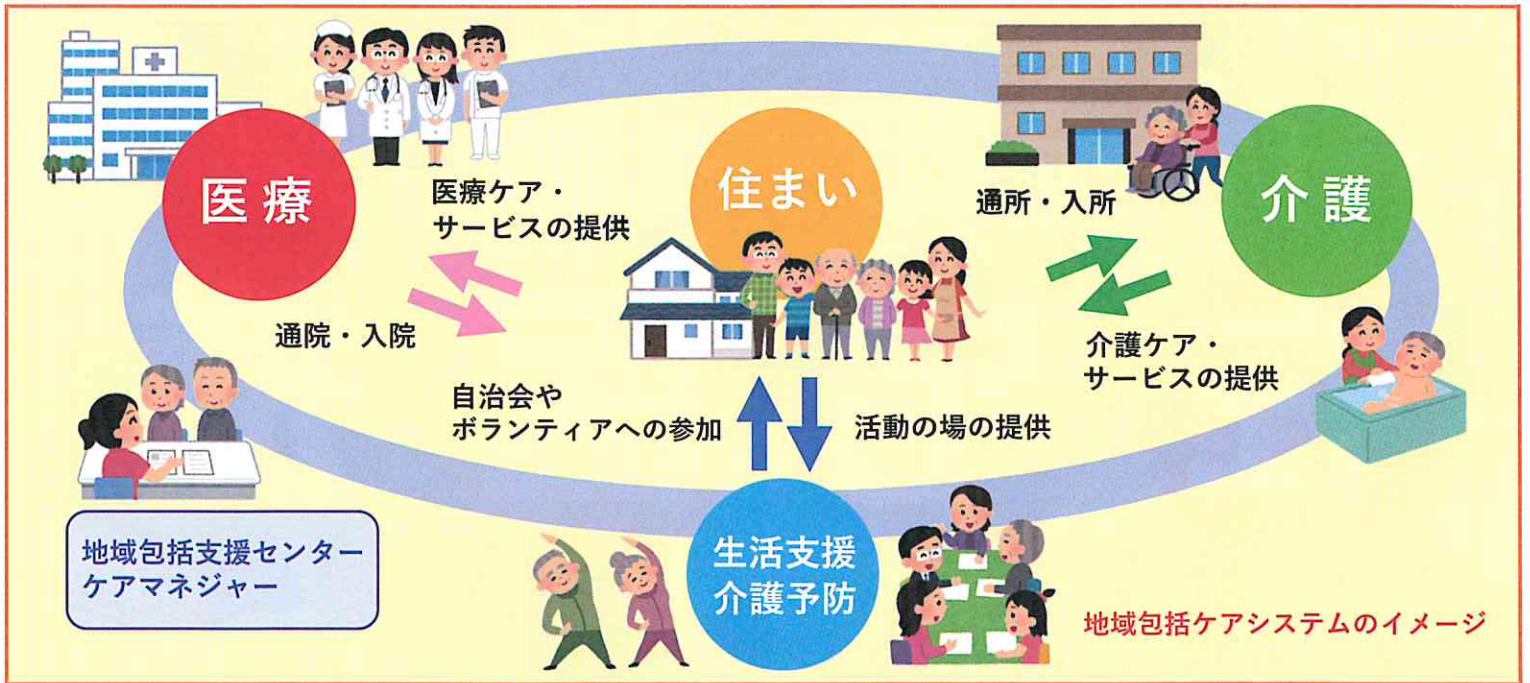


## ケーブルテレビで「在宅医療」について放映します

- ・ 在宅療養支援診療所HAPPINESS館クリニックの齋木実医師による「在宅医療に関する講話」をゆずの里ケーブルテレビ及び毛呂山中央テレビで放映し、在宅医療の情報をお届けします。
- ・ 放映期間：令和3年12月1日から1か月間
- ・ 毛呂山町及び越生町のホームページでもご覧いただけます。ぜひご覧ください。

# 地域包括ケアシステム

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域一体で支援する体制のことです。



## 人生会議

～アドバンス・ケア・プランニング～ をご存じですか！

自らが希望する医療・ケアを受けるために、大切にしていることや望んでいること、どこかで、どのような医療・ケアを望むかを自分自身で前もって考え、周囲の信頼する人たちと繰り返し話し合い、共有する取り組みを**人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）**といいます。

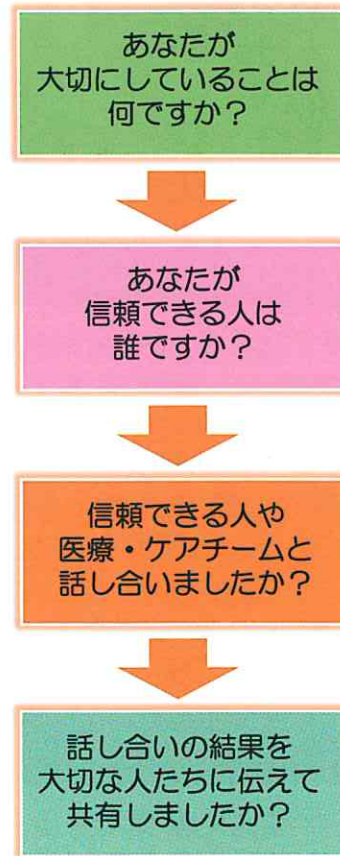
厚生労働省では、「ACP：アドバンス・ケア・プランニング」を、より馴染みやすい言葉となるよう「人生会議」という愛称で呼ぶことに決定しました。  
また、「人生会議」という愛称が国民一人一人の生活の中に、より浸透するようロゴマークを一般公募して選定されたものです。

### 人生会議の冊子を配布しています！！



地域の住民の皆様が、安心して最期まで住み慣れた地域で生活ができることを目的に作成しました。

### 話し合いの進めかた（例）



心身の状態に応じて意思は変化することがあるため、何度でも繰り返し考え、話し合いたしましょう。

※ 厚生労働省リーフレットより引用

令和3年12月発行

【編集・発行】毛呂山町 越生町 毛呂山越生在宅医療支援センター

掲載記事・在宅医療に関するお問い合わせは、毛呂山越生在宅医療支援センターまで

☎ 049-295-2320 (平日9:00~17:00)